

里見まり子

からだの世界! 動きの世界!

目を閉じて、からだの声に耳をすまし、感覚のアンテナを伸ばすと足裏が大地と対話し、皮膚が空気の流れをとらえる。背骨がゆるみ、ゆらゆらと歌いはじめる。対話するからだは宇宙とつながる時、私たちが忘れていた“からだの世界”“動きの世界”の底知れぬ広がりが見えはじめる。

2015年2月5日 - 7日

せんだいメディアテーク 6階ギャラリーb 無料

5 金曜 - 7 日曜

展示

10:00 - 18:00 (初日13:30から 最終日17:00まで)

身体表現の授業作品や国内外のワークショップの記録写真
実践で使った道具などの展示

6 土曜

公開講座

10:30 - 16:30

さわることから生まれる形と動き

見えない方、見えづらい方、見える方と共に「さわること」をたよりに
形と動きを生みだす

申し込み必要: 022-214-3521

詳しくは宮城教育大学公開講座で検索

7 日曜

ワークショップ

13:00 - 14:30

感覚の世界で遊びながら他者やもの、自然とかかわるからだを拓く
申し込み必要 先着30名

パフォーマンス

14:45 - 15:45

さわること・生まれる・動く

アフタートーク

16:00 - 17:00

みんなで語りましょう!

軽食とドリンク

17:00 - 19:00

せんだいメディアテーク 1階 クレプスキュールカフェ 実費負担

問合せ: 宮城教育大学黒川修行研究室 022-214-3459

m.sato2016feb@gmail.com

宮城教育大学里見まり子先生退職記念実行委員会



里見 まり子
宮城教育大学教授・即興舞踊家
東京教育大学卒業。1980～85年ドイツ・ケルン体育大学に留学し身体表現の理論と実践を学ぶ。帰国後、宮城教育大学に勤務。身体表現、ダンス、体操などの授業を担当。障害の有無を問わず市民を対象とする講座、ワークショップ等にも力を入れている。即興舞踊家としても国内外で活動。目下、及川廣信氏に身体哲学、東西の身体メソッドを学び即興舞踊をさらに探求中。



光島 貴之
美術家・鍼灸師
1954年生まれ。10歳の頃に失明。1995年よりラインテープとカットティングシートを使った「さわる絵画」の制作を始める。タッチ・アートワークショップや、音の作家、ダンサーとのコラボレーションにも取り組んでいる。



榎原 光裕
音楽家・ピアニスト
東北大学工学部、バークリー音楽大学出身。『定禅寺ストリートジャズフェスティバル』創立などのプロジェクトや作曲の活動の傍ら、平成2年より現在まで宮城教育大学で非常勤講師を務める。



Masafumi Hosumi
彫刻家・メキシコ合衆国、チャパス州立芸術科学大学(UNICACH)准教授
1991～93年 メキシコ外務省政府給付金を受け渡墨。2010年メキシコ 南部芸術コンクール大賞受賞。2014年メキシコ文化庁スカラシップを受ける。国際的に活躍中、1998～2014年まで個展15回、グループ展多数。現在メキシコ チャパス州在住。



溝口 さちこ
アーティスト・デザイナー
廃紙を素材にした作品を制作。日本の物語りをイタリア語のモノローグにしてパフォーマンスをする。俳句に親しみイタリア語に翻訳した俳句を子供たちに聞かせ、そこから紙を使って表現するプロジェクトをイタリア、ロベレットの現代美術館 Martで現在にいたるまで行う。